

### ■平成30年度 事業戦略策定促進事業

## 7/13(金)-14(土) 事業戦略策定セミナー合宿(1回目)を実施

目的：事前のヒアリングにより抽出した課題の対応策を検討し、アクションプランを立案するとともに「事業戦略」の策定について実施しました。以下にワークの概要を示します。

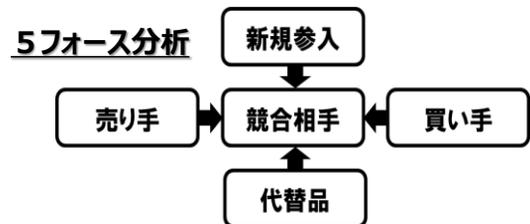
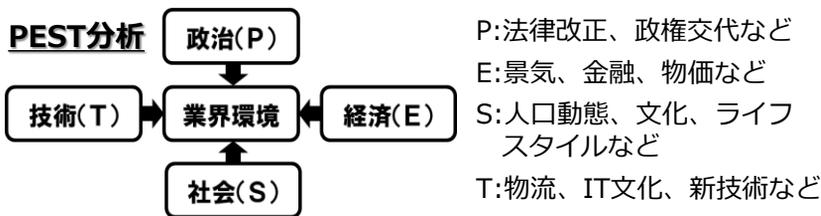


7社から16名、女性も多数参加

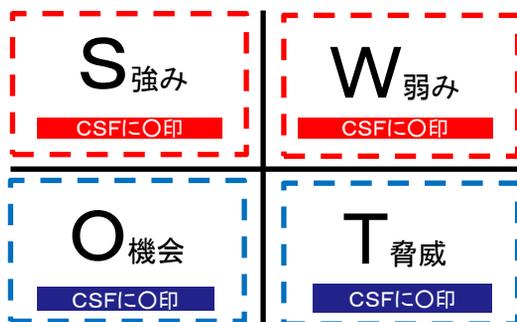
### ●ワーク1： 経営自己診断

- ・中小機構の経営自己診断システムを使用し、自社の財務状況を客観的に診断
- ・3年後、5年後の目標設定（売上げ、利益、顧客の想定）

### ●ワーク2： マクロ・業界分析



### ●ワーク3： 経営課題のSWOT分析の実施



- ①CSF（重要成功要因）＝「目的達成のために最も力を入れて取り組むべき課題」の抽出  
↓
- ②どうしてその課題が生まれたのか？  
↓
- ③どうした対応が必要か？

### ●ワーク4： 実行計画の作成

◇BSC（バランス・スコア・カード）への落とし込み

BSC視点	経営目標の設定の例
財務	売上げ高、利益
顧客	顧客満足度、顧客定着率、市場占有率 新規顧客獲得数、クレーム発生率
業務プロセス	開発効率、在庫回転率、生産リードタイム 改善施策提案数
学習と成長	資格保有率、従業員満足度、新技術開発数 特許出願数、組織確立、セミナー出席数



### ■ 個別面談

ワーク3の結果について専門家と1社ずつ個別面談（30分/1社）を実施

# ● 7/25 工業会・高知県・産業振興センター 合同の意見交換会を開催

## ●工業会は産業振興計画と連動して事業を推進

本年度の意見交換会は、1)経営力の強化、2)人材の確保と育成及び働き方改革、3)生産性の向上の3テーマに関して行い例年以上の活発な意見交換会となりました。その結果、下図に示すように工業会の取組みは、Ver3産業振興計画と密接に連動して事業を推進していることが確認できました。

### ■平成30年度 工業会の取組み概要（意見交換に関する事項）

#### ①経営力の強化

補助事業：事業戦略策定促進事業を実施

◇会員企業の経営課題事例

##### 経営・財務

財務分析の経営への反映、社内コミュニケーション  
事業承継、次世代育成、人材の定着

##### 研究開発・製造

新商品開発、生産管理・品質管理（Q.C.D）  
設備投資、ロボット・IT/IoT活用

##### 販売

新規顧客開拓、営業力の強化

#### ●人材の育成

◇産業技術人材の育成（6機関と連携）

- ・工業技術センター、高知高等技術学校
- ・ポリテクカレッジ高知、ポリテクセンター高知
- ・中小企業団体中央会、職業能力開発協会

◇中核人材の育成（2機関と連携）

- ・経営：土佐MBA受講支援（ココブラ）
- ・技術：ものづくり人材育成交流会（産振センター）

#### ③生産性の向上

●生産性の向上に関する研修の実施

※次ページに詳細

#### ④その他

●海外展開 タイ王国との覚書締結 等

#### ②人材の確保と育成

●人材の確保（県内就職の促進）

◇県教委及び県と連携して各種事業を実施



- 参加者
- ・県 19名
- ・産振センター 17名
- ・工業会 27名

会場 城西館

### ■第3期 高知県産業振興計画 ～商工業分野の展開イメージの概略～

#### 柱2 絶え間ないものづくりへの挑戦

- ものづくり企業の製品開発の促進
- 生産性向上（省力化・高付加価値化）の支援
- ・工技センターの生産性向上に向けた支援強化

#### 柱5 産業人材の育成・確保

- 人材確保の促進
- ・新規学卒者の県内就職促進
- 人材の育成の促進
- ・産業界のニーズに応じた人材の育成
- 働き方改革の推進

柱1 持続的な拡大再生産の好循環に向けた事業者の事業戦略策定

#### 柱3 外商の加速化と海外展望の促進

- 見本市出展や商談会の開催
- 県内企業の海外展開等を促進

#### 柱4 企業立地や起業の促進

- ものづくり企業の強化につながる企業立地

高知中央産業団地 分譲開始！  
所在地：高知市一宮字大坂  
対象業種：製造業

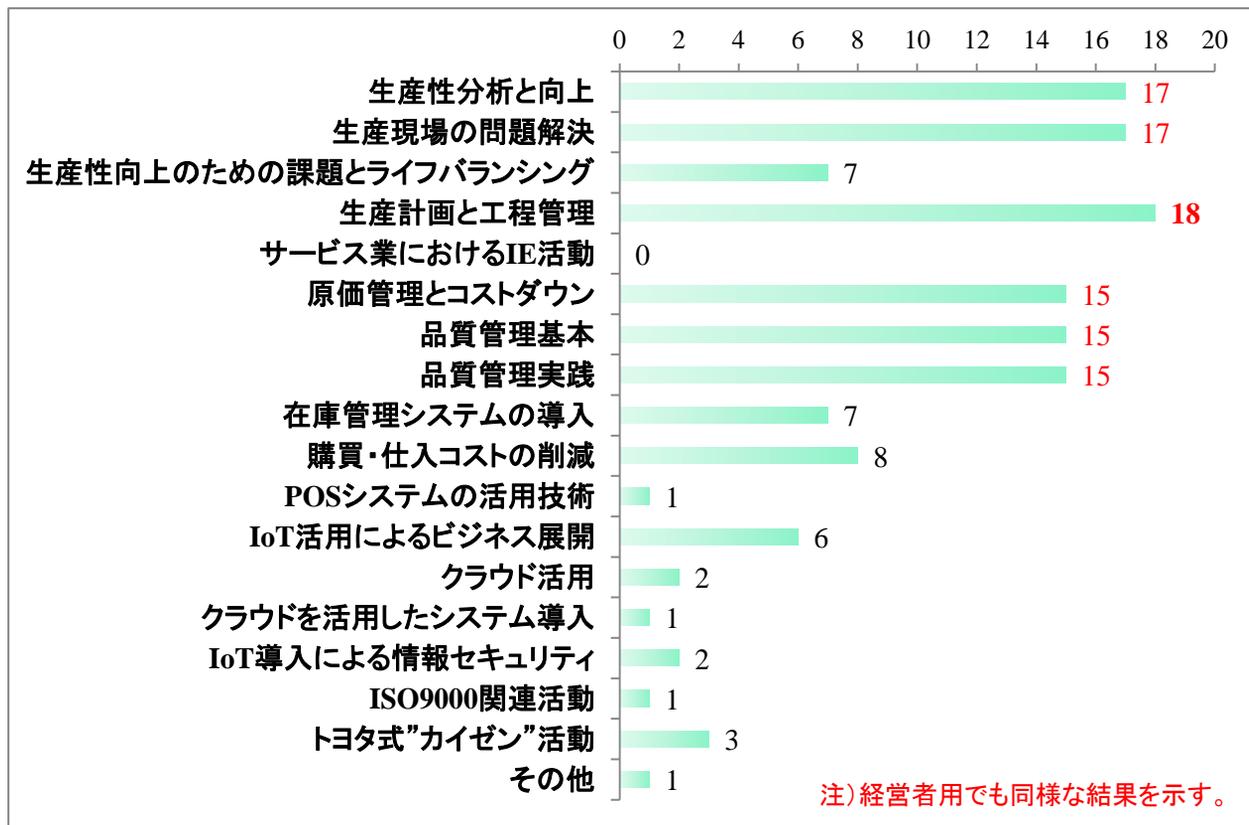
# ● 人材育成に関するニーズ調査の概要 (平成29年度実施)

- ・調査対象 工業会正会員130社
- ・調査票は2種類 (経営者用、現場管理者用)
- ・調査期間 平成29年11月15日～平成29年11月30日
- ・有効回答数 45社

※本調査は工業会とポリテクカレッジ高知と共同で実施しました。

## ●現場管理者の声

Q8: 御社の品質管理や改善活動についておたずねします。下記の項目で教育を受けさせたい項目にチェックを入れて下さい。(複数回答可)



## ■ 調査結果に基づき、以下の生産性向上支援セミナー実施します。

### 講座1 生産計画と工程管理

日時：平成30年11月13日 (火)

### 講座2 品質管理実践

日時：平成30年12月6日 (木)

受講料：各講座3,240円 (但し、会員企業は無料)

定員：各講座15名

※9月から募集開始

工業会は、会員企業の皆様からのニーズをもとに社員の人材育成を応援します。



●マツダ効果により高得点を獲得！

競技会は5月27日に実施。審査会を経て、2部門において以下の方々が入賞しました。

本年度の特徴は、4月に行ったマツダ(株)のスーパープレーヤーによる研修効果が顕著に表れたことであり、入賞者は高得点を収めました。

なお、各部門1位の方は10月に山口県で開かれる全国大会に出場します。



4/28 マツダのスーパープレーヤーの実演

○炭酸ガスアーク溶接の部

参加者：25名/12社、1学校（高知高等技術学校）

- |     |       |           |
|-----|-------|-----------|
| 第1位 | 向井 謙太 | 将生工業      |
| 第2位 | 中沢 怜  | (株)鉄建ブリッジ |
| 第3位 | 中平 直人 | 三洋工業(株)   |
| 優秀賞 | 北川 司  | (株)垣内     |
| 優秀賞 | 舩吉 正太 | (株)一宮鉄工所  |
| 優秀賞 | 小川 幸輝 | 三洋工業(株)   |
| 優秀賞 | 澤田 将矢 | (株)エスイージー |
| 優秀賞 | 岡林 泰  | (株)サヤカ    |



炭酸ガスアーク溶接の部 第1位  
向井 謙太さん（左）

○被覆アーク溶接の部

参加者：6名/4社、1学校（高知高等技術学校）

- |     |       |           |
|-----|-------|-----------|
| 第1位 | 石村 晃久 | (株)SKK    |
| 第2位 | 第十 忍  | 第十工業(株)   |
| 第3位 | 森岡 孔明 | (株)鉄建ブリッジ |
| 優秀賞 | 宗石 有平 | 宗石鉄工(有)   |
- ※会員企業から8名が入賞



8月の行事予定		
22	水	人材確保委員会 高等学校等就職指導担当者との意見交換会
29	水	第3回総務委員会
予定：第4回受注拡大委員会 ※新規取引先の開拓事業（産振センターと連携） 関西機械要素技術展出展に向けての検討会		



≪編集後記≫

事業戦略策定合宿は経理担当者の参加。また、参画企業7社の内、半数以上の企業が後継者であることが特徴。7社の共通課題は、財務分析の経営への反映や部署間等のコミュニケーションのあり方が重要な経営課題として位置づけられました。2回目の合宿は9/14-15に実施、中長期業績目論見など数値固めに入ります。

意見交換会。平成27年の協定を締結して以降3者の連携はずいぶん深まり、補助金等々工業会の取組みに着実に反映されるようになり、県の推進する産振計画との連動性を今回の意見交換会で改めて感じることができました。溶接技術コンクール、まさしくマツダ効果の賜物！（にしうち）